道立中等教育学校の前期課程において使用する中学校用教科用図書採択理由

年　　度	平成31年度から使用
学　校　名	北海道登別明日中等教育学校

種　目	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	書　名	採択理由
特別の教科 道徳	３８・光村	1 2 3	道徳・724 道徳・824 道徳・924	中学道徳1きみがいちばんひかるとき 中学道徳2きみがいちばんひかるとき 中学道徳3きみがいちばんひかるとき	同校は、６年間の一貫した教育を行い、生徒の進路実現を図るキャリア教育の充実に努めるとともに、国際理解教育や外国語教育の重視、地域や北海道の良さを学ぶ学習活動の推進等、特色ある教育活動を通して、生徒の個性や能力の伸長を目指している。 また、現行学習指導要領においては、知・徳・体のバランスとともに、基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力及び学習意欲を重視し、これらを調和的に育むこととしている。 さらに、北海道教育推進計画においては、社会で活きる実践的な力を育成するため、学ぶ意欲を高め、望ましい学習習慣を身に付けさせ、自ら学び自ら行動する力などの確かな学力の向上を図ることを目指している。 こうしたことを踏まえ、今回の特別の教科　道徳の教科書選定に当たっては、北海道教育委員会が示す採択基準に基づき、次のような観点を設定して、全ての見本本についての専門的な調査研究を行った。 その結果、各教科書の特徴を踏まえ、主に次の理由から光村図書の教科書が最適であると判断する。 ○　道徳教育の目標を達成できるよう、例えば、生命の尊厳については、次のような学習活動が取り上げられている。 第１学年～　生きるとはどのようなことかや、人はなぜ命の尊さを感じるのかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、いじめが起こらない社会をつくるために大切なことは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。 第２学年～　生きていると感じることができるのはどのようなときかや、命とは、どのようなものかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、周りの人の善意に支えられていると感じるのは、どのようなときかを考える活動を取り上げている。 第３学年～　命を大切にするとはどのようなことかや、命を大切にするには、どのようにすればよいかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、いじめをなくすために、自分にはどのようなことができるかを考える活動を取り上げている。 ○　内容の構成・排列・分量等との関連については、 ・各学年に、考え、話し合うことを中心に据えた「てびき『学びのテーマ』」を配置し、考え、議論する授業を構成して言語活動の充実が図られるように工夫されている。 ・各学年に、問題を解決するための発問「考える観点」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・各学年に、道徳的行為に関する体験的な学習を示した「人と人との関係づくり」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。 ○　使用上の配慮等（主体的な学習）との関連については、各学年に、教材ごとに記入する「私の気づき」や、シーズンごとの記録を残す「学びの記録」を配置し、自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるように工夫されている。 ○　中等教育学校への対応等については、北海道の地域素材が 11 か所掲載されるとともに、国際的な人道支援や世界平和等について考える教材や活動が配置され、同校の目指す、本道の将来を担う人材育成との関連や地理歴史科の学習内容との系統性が図られるようになっている。